

石川県下の特殊コレクション

香村 幸作

石川県内の特殊コレクションについては、現在まで完全に把握されていない。ここでは昭和48年3月までに把握したものをのせました。(公立機関のみ)

〔加賀市立図書館〕

聖藩文庫 加賀藩の支藩大聖寺藩の旧蔵書約1,200点, 8,000冊。刊本が主体で若干の写本を含むが, 文書類は含まれていない。経書, 地理史書, 戦記関係。

〔金沢市立図書館〕

氏家文庫 当館の郷土資料蒐集調査方を委嘱されていた氏家栄太郎(1863~1939)の旧蔵書, 512点, 1,943冊。史書地誌郷土資料が多い。約1割強が自筆写本。絵図類の大半は自分で筆写したものの。

大島文庫 加賀藩の藩校明倫堂の都講であった大島維直(贊川)(1763~1838)その子桃年(1793~1853)孫善(1826~1880)の旧蔵書, 約260点, 600冊。郷土関係, 国学関係が多い。

奥村文庫 加賀藩の老臣, 奥村氏の旧蔵書, 約500点。主として, 尚寛(1757~1803)栄実(1792~1843)栄通(1812~1877)三代の筆録にかかる郷土資料。

加越能文庫 尊経閣文庫のうち, 加越能関係の資料, 約10,000点, 30,000冊を独

立させたもの。藩政初期以来藩庁に保存されていた, 公文書, 公記録類を主として, 各分野におよんでおり, 加賀藩関係の研究には欠かせない資料。

稼堂文庫 四高, 五高などの教授を勤めた稼堂黒本植の旧蔵書, 約2,700点, 7,600冊。漢籍, 国学, 郷土資料と範囲は広い。

雅堂文庫 加賀藩の老臣, 前田氏(藩祖利家の次男利政の直系)の雅堂直行(1866~1943)の旧蔵書, 約760冊。漢籍が多く, 郷土資料, 兵法書などもある。

河合文庫 能登国鹿島郡の十村(他藩の大庄屋)であった河合家の文書, 約300点。当館の唯一の地方文書, 村方支配文書。

河野文庫 藩末の兵学者, 河野通義の蔵書, 約300点。河野氏は代々藩の老臣長氏に仕えた。通義は本多利明等に師事し数学, 天文測量等にも長じていた。

岸文庫 藩末に藩校経武館の剣術師範を勤めた岸家の旧蔵書, 約300点, 1,000冊。武芸資料, 明治初期資料にも珍らしいものがある。

金陽文庫 石川県の美術とくに絵画の面で功績のあった大西金陽の旧蔵絵画等, 約900点。

古愚軒文庫 大島照, 号古愚軒の旧蔵書, 約2,500冊。漢籍が多い。

後藤文庫 加賀藩の穴生方後藤家の旧蔵

書、約250点。金沢城や石垣に関する資料が多い。

犀川文庫 藩老横山氏の儒員井口濟(1812~1884)・号犀川の旧蔵書、約1,000点。漢籍が多いが、長男無加之の蔵書もある。

佐々木文庫 大聖寺出身の佐々木秀三郎(1841~1916)の旧蔵書、約2,500冊。医書が多い。

斯波文庫 機械工業界の泰斗で貴族院の議員であった斯波忠三郎(1872~1934)の旧蔵書、約1,000点。理学書が多い。

清水文庫 加賀藩の大工方清水家の蔵書、約400点。建築関係以外にも衛生医学関係書もある。

蒼龍館文庫 高岡の旧家で製薬医業を開業していた佐渡家の旧蔵書、約1,000点。和漢方蘭方が主体であるが、漢詩文その他幅広い収集である。蒼龍館は佐渡家の書庫の名。

津田文庫 藩士津田家の蔵書、約500点。兵法書、郷土関係資料。

藤本文庫 加賀藩の御手役者で観世流太鼓を職としていた藤本家の旧蔵書、約3,400冊。能楽関係、明治初期の医書、国書、郷土資料。

松宮文庫 松宮助之丞の旧蔵書、約1,400冊。国書、漢籍。

村松文庫 藩末に江戸三度飛脚の棟取を勤め、明治初期金沢の経済界で活躍した村松家の蔵書、約1,100点。地誌、俳諧、絵画に関する資料が多い。石川県美術館、石川県立郷土資料館にそれぞれ性格に応じて寄贈されている。

蘿月窟文庫 蘿月窟主人藤田容斎の旧蔵書、約300冊。国学関係。弟子の黒本植の寄贈による。

〔七尾市立図書館〕

小田文庫 七尾出身の郷土研究家小田吉之丈の旧蔵書、約70点。郷土資料、自筆稿本、写本類。

田保橋文庫 七尾出身の漢学者田保橋浩堂の旧蔵書、約800点。漢籍が多い。

安田文庫 七尾出身の漢学者安田浩吉の旧蔵書、約400点。漢籍、国学関係。

〔石川県立図書館〕

小幡文庫 藩の会所奉行、割場奉行などを勤めた小幡家の旧蔵書、約950点。武家文書であるが、明治初期経済資料も多い。

関口文庫 郷土数学の先駆者関口開(1841~1884)の自筆稿本、刊行著書、25点。

田中文庫 四高の数学教授田中鉄吉(1861~1945)の旧蔵書、約340点。数学に関するものでその内100点余りが、塵却記とその類書である。

富田文庫 富田景周の自筆稿本、写本類、19点。慈雲寺本ともよばれている。

鏡石文庫 明治17年鳳至郡剣地に作られた県下で最初の私立図書館、鏡石文庫の蔵書、約5,100冊。創設者は中橋和之で自己の蔵書と友人の寄贈図書で構成され、当時としては、画期的なものであった。

真館文庫 鹿島郡で代々十村を勤めた真館家の旧蔵資料、約300点。支配関係、同郡産業関係文書。

村松蔵書 羽作郡の豪農村松標左衛門(1762~1841)の蔵書、60冊。本草関係。

森田文庫 藩末から明治にかけての郷土研究家森田平次(柿園、1822~1908)の旧蔵書約250点。父良郷の手写本や、自筆写本など郷土資料としては貴重なものが多い。

吉本文庫 石川県で最初の新聞『開化新

聞』を出した吉本次郎兵衛の旧蔵資料と関係資料、約40点。

李花亭文庫 文学者藤岡作太郎の旧蔵書で約4,000冊。国文学、美術、国史関係が大半を占め、稀覯本も多い。自身の書き入れがあることも有名。李花亭は書斎の名。

〔石川県立郷土資料館〕

岩佐家文書 河北郡十村岩佐家の文書、約570点。十村文書、支配関係以外に藩末の海防関係、浜方関係も含まれている。

上田家文書 藩老横山氏の家臣であった上田家の文書、約220点。陪臣資料。

大地家文書 大地家は、四代彦右衛門近知の妻が、室鳩巢の妹であり、藩内ではよく知られた家柄である。約90点。

木村家文書 藩老奥村氏の支家木村家の文書、70点。陪臣資料。

後藤家文書 金沢近郊押野村で代々十村を勤めた後藤家の文書、約1,900点。典型的な村方支配文書であり、年代も慶長年間から明治年間まで含まれている。

小宮山文書 旧高島屋伝右衛門家の文書、111点。藩制初期の海船関係の好資料。

村松家文書 金沢市立図書館の村松文庫と同じ村松家の文書、約780点。絵図、文書、写本類。

谷内家文書 輪島の肝煎役谷内家の文書。265点。

その他に、荒木家文書（宮大工、絵図等、120点）、小川家文書（武家、宛行状等21通）、小原家文書（下級武家、27点）、榎田家文書（武家、宛行状等、27点）、加藤家文書（美川の加登屋の文書、海船関係）、駒井家文書（21点）、島崎家文書（旧島崎

徳兵衛家、海船関係、35点）、西家文書（白山麓尾口村、むつし関係、17点）、木谷、島崎家文書（海船関係、16点）がある。

〔金沢大学〕

暁烏文庫 松任明達寺の住職暁烏敏（1877～1954）の旧蔵書、約50,000冊。仏教関係図書が多く、国内だけでなく、中国、印度、欧米で刊行されたものもある。

浦井文庫 四高の教授浦井鎧一郎の旧蔵書、約490冊。西洋史学の原書、教えを受けた学生からの献呈本も含まれている。

駒井文庫 四高の教授駒井徳太郎の旧蔵書、約4,000冊。漢籍が多く、明版を含む中国本もある。

北条文庫 北条時敬（1859～1929）が四高に分散寄贈したものをまとめて一つにしたもの。1,760冊。近世史料がほとんどで朱筆の書入れがみられる。

用和堂文庫 加賀藩礼法指南役渡辺家の旧蔵書、746冊。各種礼法、有職故実関係図書、卷子本。

和田文庫 金大教授和田三良氏の旧蔵書、1,647冊。経済学の原書等。

〔石川県農業短期大学〕

坂田文庫 農林大臣を勤めた坂田英一（1897～1969）の旧蔵資料、約6,500冊の図書と、5,300点の行政関係資料、農政関係、自筆原稿、書簡等も含む。

渡辺文庫 現学長渡辺庸一郎氏の蔵書で開学に際して寄贈したもの、約3,000冊。3分の1は洋書、農政、農業経済関係。

（こうむら・こうさく 石川県立図書館）